AirStation Pro Plus
WLM2-L11G
導入ガイド

■電波に関する注意

- ● 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- ● 次の場所では、本製品を使用しないでください。
  電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところ（環境により電波が届かない場合があります。）
  ※ 弊社製無線プリンタバッファ（RYP-G)、他社製の無線プリンタバッファなど2.4GHz 付近の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。
- ● 本製品は、技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
  ・本製品を分解／ 改造すること
  ・本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- ● 本製品の使用する無線チャンネルが出荷時設定以外の場合は、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
  ・産業・科学・医療用機器
  ・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
  ①構内無線局（免許を要する無線局）
  ②特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
- ● 本製品の無線チャンネルを出荷時設定以外に設定して使用する場合は、上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。但し、本製品の周波数が出荷時設定（14チャンネル）の場合は、上記の機器と電波干渉をすることはありません。
  1 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
  2 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。
  3 その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社インフォメーションセンターへお問い合わせください。

使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	DS-SS 方式
想定干渉距離	40m 以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能

■ 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。
本書では、™、®、©などのマークは記載していません。

■ 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■ 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社インフォメーションセンターまでご連絡ください。

■ 本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
・一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■ 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■ 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

■ 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■ 弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

■ 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

■安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり、内容をよく理解された上でお使いください。お読みになった後は、必ずお手元に置き、常に参照できるようにしてください。なお、本書には、弊社製品だけでなく弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。また、製品のマニュアルと重複する内容も含まれています。
パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

警告	この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

	は、警告、注意を促す記号です。 の中や近くに、具体的な警告内容が描かれています。 （例： 感電注意）
	は、してはいけない事項（禁止事項）を示す記号です。 の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。 （例： 分解禁止）
	は、しなければならない行為を示す記号です。 の中や近くに、具体的な指示内容が描かれています。 （例： プラグをコンセントから抜く）

警告

禁止

電源ケーブルを傷つけたり、加工、過熱、修復しないでください。
火災になったり、感電する恐れがあります。

- 設置時に、電源ケーブルを壁やラック（柵）などの間にはさみ込んだりしないでください。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
- 熱器具に近付けたり、過熱したりしないでください。
- 電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 極端に折り曲げないでください。
- 電源ケーブルを接続したまま、機器を移動しないでください。

万一、電源ケーブルが傷んだら、弊社インフォメーションセンターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。

分解禁止

本製品の分解や改造はしないでください。
火災や感電の恐れがあります。

電源プラグを抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、ACコンセントからプラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりした場合は、すぐにACアダプタを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

強制

ACアダプタは、必ず付属品を使用してください。
付属品以外のものを使用すると、電圧や極性が異なる場合があり、発煙、火災や故障の恐れがあります。

禁止

AC100V（50／60Hz）以外のACコンセントには、絶対にプラグを差し込まないでください。
海外などで異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。

強制

ACアダプタは、ACコンセントに完全に差し込んでください。
差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

電源プラグを抜く

液体や異物などが内部に入ったら、ACコンセントからプラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止

風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。
火災になったり、感電する恐れがあります。

強制

電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。
けがをする危険があります。

注意

電源ケーブルがACコンセントに接続されているときには、濡れた手で本製品に触らないでください。
感電の原因となります。

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。
体などからの静電気は、本製品を破損させる恐れがあります。

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。
条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品に悪影響を及ぼすことがあります。

- 強い磁界が発生するところ（故障の原因となります）
- 静電気が発生するところ（故障の原因となります）
- 震動が発生するところ（けが、故障、破損の原因となります）
- 平らでないところ（転倒したり、落下して、けがの原因となります）
- 直射日光が当るところ（故障や変形の原因となります）
- 火気の周辺、または熱気のこもるところ（故障や変形の原因となります）
- 漏電の危険があるところ（故障や感電の原因となります）
- 漏水の危険があるところ（故障や感電の原因となります）

本製品は、オペレーションシステムとして、GNU General Public License Versioon2,June 1991に基づいた、オープンソースを採用しております。

オープンソースとしての性格上著作権による保証はなされておりませんが、本製品については保証書記載の条件により当社による保証がなされています。

変更済みGPL対象モジュール、GNU General Public License、及びその配布に関する条項については、当社のホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)をご覧いただくか、インフォメーションセンターにご連絡ください。

配布時発生する費用は、お客様のご負担となります。

はじめに

ここでは、本書「導入ガイド」の目的、構成および読み方について説明しています。

目的

このマニュアルでは、本製品の最初のセットアップ方法、デフォルト設定、トラブルシューティングと本製品の仕様について説明しています。
また、このマニュアルは、本製品を初めて設置および設定する人を対象にしています。
本製品を設置するには、ネットワークの構造、用語、および、概念に関する知識が必要です。

構成

このマニュアルは、次の4章で構成されています。
第1章「製品概要」では本製品の機能と仕様について説明しています。
第2章「設置」では、基本的な設置方法を説明しています。
第3章「基本設定」では、基本的な設定方法を説明しています。
第4章「付録」では、本製品のデフォルト設定と、セットアップ中に発生する可能性のある問題の解決方法について説明しています。

本書の使いかた

■ 文中マーク／用語表記

本書を正しくお使いいただくための表記上の約束ごとを説明します。

注意マーク ⚠注意

製品の取り扱いにあたって注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与えるおそれがあります。

メモマーク メモ

製品の取り扱いに関する補足事項、知っておくべき事項です。

参照マーク ▶参照

関連のある項目のページを記しています。

- 文中[　]で囲んだ名称は、操作の際に選択するメニュー、ボタン、テキストボックス、チェックボックスなどの名称を表わしています。
- 文中『　』で囲んだ名称は、ソフトウェアやダイアログボックスの名称を表わしています。
- 本書では原則として、弊社製無線LANカードを装着したパソコンを無線LANパソコン、本製品の設定に使用するパソコンを設定用パソコンと表記しています。
- ケーブルで接続された10／100BASEのLANとケーブルを使用しない無線LANを明確に区別するために、本書では次の用語を使用しています。
  有線LAN……ケーブルで接続されたLAN
  無線LAN……無線通信を使用したLAN
  上記の用語は、説明のために本書のみで便宜上使用するものであり、一般的には使用されません。あらかじめご了承ください。

目　次

第１章　製品概要

本製品は、無線LANのアクセスポイントです。無線LANと有線LAN間の接続ポイントとして機能します。また、無線LANパソコンが本製品の通信範囲内にあれば、複数のアクセスポイントのうち最もつながりやすいアクセスポイントに自動的に接続するので、施設全体を移動しながら途切れることのない通信をすることができます。

この章では、次の内容について説明します。
・主要な機能
・ネットワーク構成例
・仕様

1-1　主要な機能

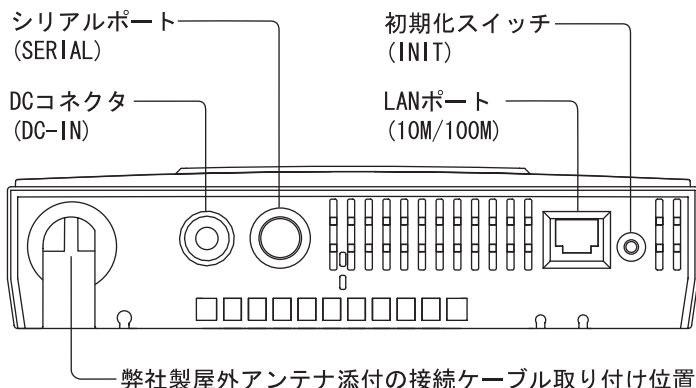
この項では、次にあげる本製品の主要機能について説明しています。
・PoE（Power over Ethernet）
・コネクタとスイッチ
・外部アンテナ
・LED表示

1-1-1 PoE（Power over Ethernet）

本製品は、別売のPoE給電アダプタを使うことによって、LANケーブルから電力を受け取ることができます。この場合は、本製品にACアダプタを接続する必要はありません。

▶参照 PoEの詳細については、別売のPoE給電アダプタのマニュアルを参照してください。

⚠注意 PoEは弊社独自仕様のため、必ず本製品に対応した弊社製POE給電アダプタをお使いください。

1-1-2 コネクタとスイッチ

LANポート

LANケーブルで、本製品のLANポートとハブなどのネットワーク機器を接続します。本製品のLANポートはAUTO-MDIXに対応しているため、LANケーブルの種類（ストレート／クロス）に関係なくネットワーク機器と接続できます。また、別売のPoE給電アダプタを使えば、LANケーブルから電力を受け取ることができるため、ACアダプタを接続する必要がありません。

▶参照 PoEの詳細については、別売のPoE給電アダプタのマニュアルを参照してください。

シリアルポート

本製品のシリアルポートから、コンソールで設定画面にアクセスできます。添付のシリアルケーブルを使用して、パソコンのCOMポートと本製品のシリアルポートを接続します。次の設定で、ターミナルソフトから設定画面を開きます。

・転送レート　　57600bps
・データビット　8
・パリティ　　　なし
・ストップビット　1
・フロー制御　　なし

初期化スイッチ

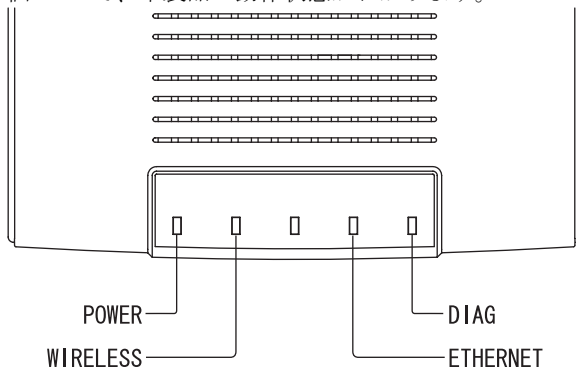
このスイッチをDIAG LEDが点滅するまで（約3秒間）押すと、本製品の設定内容をデフォルトに戻すことができます。

1-1-3 外部アンテナ

本製品には、別売の外部アンテナを取り付けられます。

・屋内アンテナ　WLE-DA／WLE-NDR
・屋外アンテナ　WLE-HG-DYG／WLE-HG-NDC

1-1-4 LED表示

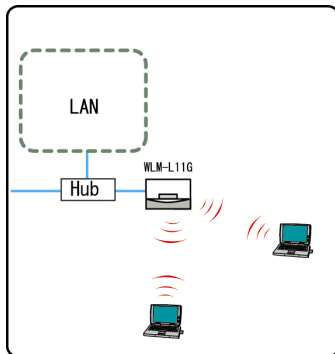
本体上部にある4個のLEDで、本製品の動作状態がわかります。

- POWER LED：電源ON時に点灯（緑）します。
- WIRELESS LED：無線LANの接続ラインが有効時に点灯（緑）します。無線での通信時は点滅（緑）します。
- ETHERNET LED：有線LANの接続ラインが有効時に点灯（100Mbps：緑、10Mbps：橙）します。
- DIAG LED：LEDの点灯回数により異常内容を示します。次の表でエラーの内容を確認し、一度、ACアダプタをコンセントから抜いてください。再び、差し込んだときもLEDが点灯する場合は、弊社修理センター宛てに本製品をお送りください。

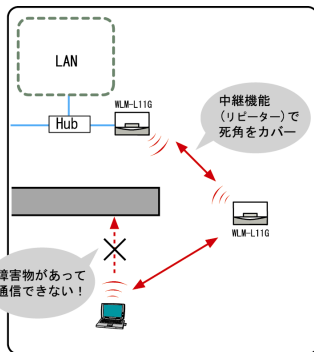
LED表示	異常内容
起動時に赤色常時点灯	RAMエラー
起動時に赤色2回点滅	Flash ROMエラー
起動時に赤色3回点滅	有線LANエラー
起動時に赤色4回点滅	無線LANエラー
設定保存直後に赤色2回点滅	Flash ROMエラー
ファームウェアアップデート時に赤色2回点滅	Flash ROMエラー

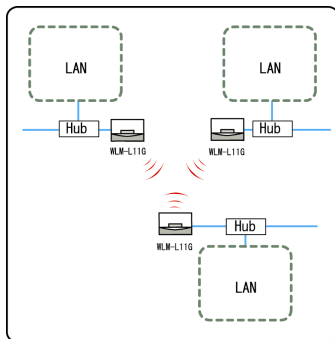
1-2 ネットワーク構成例

本製品を使った無線ネットワークの構成例を説明します。本製品のデフォルトは、無線と有線のネットワーク間の接続ポイントとして動作するように設定されています。

1-2-1 無線ー有線間の接続ポイント

有線LANに直接接続している本製品は、無線LANと有線LANの接続ポイントとして動作します。有線LANに複数の本製品が接続されている場合、接続中のアクセスポイントの電波が届かない場所に無線LANパソコンを移動しても、別のアクセスポイントに自動的に接続されるため、ネットワークとの接続が切断されません(ローミング機能)。ローミング機能を使用するときは、各アクセスポイントに同じESS-IDを設定します。

1-2-2 無線の電波範囲を広げるリピータ機能

本製品はWDS（Wireless Distribution System、アクセスポイント間通信)に対応しているため、無線のリピータとして使用することができます。リピータとして使用することにより、無線の電波が届く範囲を拡大したり、電波を遮断する障害物を回避することができます。リピータとして使用する場合は、本製品が有線LANに接続されている必要はありません。また、通信相手のアクセスポイントのMACアドレスを設定する必要があります。

1-2-3 WDS通信機能

6台までのWDS通信（Wireless Distribution System、アクセスポイント間通信）に対応しているため、部署内やビル内の有線LAN同士を無線で接続することが可能です。WDS通信が不安定な場合は、本製品をWDS専用モードに設定してください。
また本製品以外にも、WDS機能を搭載した弊社製WLM-L11G、WLA-AWCG、WLA-L11Gと相互通信が可能です。

1-3 仕様

メモ 最新の製品情報については、カタログまたはインターネットホームページ（http://www.melcoinc.co.jp/）を参照してください。

シリアルインターフェース部	ポート	Mini-DIN8ピン（メス）
有線LANインターフェース部	準拠規格	IEEE802.3（10BASE-T）、 IEEE802.3u（100BASE-TX）
	データ転送速度	10／100Mbps自動設定、10Mbps固定、100Mbps固定
	データ転送モード	半二重／全二重自動設定、半二重固定
	ポート	100BASE-TX／10BASE-Tポート×1（RJ45型8極コネクタ、AUTO-MDIX対応、PoE（受電）対応）
無線LANインターフェース部	準拠規格	IEEE802.11b（無線LAN標準プロトコル）
		RCR STD-33 ARIB STD-T66 （小電力データ通信システム規格）
	伝送方式	DS-SS方式単信（半二重）
	データ通信速度	1／2／5.5／11Mbps（オートセンス）
	アクセス方式	インフラストラクチャモード WDSモード（アクセスポイント間通信）
	周波数範囲 （中心周波数）	2412～2484MHz ※ 携帯電話、コードレスホン、テレビ、ラジオ等とは混信しません。
	伝送距離 （周囲条件による）	屋内115m／屋外550m（見通し）までの通信が可能（1Mbps動作時）。 ※ 11Mbps通信時は、屋内①50m／屋内②25m／屋外160m（見通し）。 屋内①：障害物の少ないオフィス 屋内②：障害物の多いオフィス ※ 通信距離は環境により影響されます。次のような場合は電波の届く距離が短くなることがあります。あらかじめご了承願います。 ① マンション等の鉄筋コンクリートの建物内及び構造に金属が使用されている住宅。 ② 大型の金属製家具の近くなど。
	アンテナ	ダイバシティ方式（内蔵）
	セキュリティ	104(128)／40（64）ビットWEP、IEEE802.1x、RADIUS、パスワード、MACアドレス登録機能

電源電圧	ACアダプタ使用時	DC5V
	PoE使用時	DC48V
消費電力	ACアダプタ使用時	最大6W
	PoE使用時	最大7.68W
消費電流	ACアダプタ使用時	最大1.2A
	PoE使用時	最大0.16A
動作環境	温度	0～60℃
	湿度	10～90％
重量		620g
外形寸法		195(W)×169(D)×46(H)mm

第２章 設置

この章では、本製品のセットアップについて説明しています。
・電波に関する注意
・パッケージ内容
・本製品の取り付け

2-1 電波に関する注意

本製品は無線で通信するため、障害物などの干渉の影響を受けることがあります。次のような場所に本製品を設置すると、スループットが減少したり通信範囲が狭くなったりすることがあります。あらかじめご了承ください。

・ 鉄筋コンクリートや構造に金属が使用されている建物内や金属製の家具や棚の近く
・ 電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところ（電子レンジは本製品と同じ周波数で動作するため、環境により電波が届かない場合があります）

※ 弊社製無線プリンタバッファ（RYP-G)、他社製の無線プリンタバッファなど2.4GHz付近の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

2-2 パッケージ内容

パッケージには、次のものが梱包されています。万一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

・ WLM2-L11G（本体） 1台
・ ACアダプタ 1個
・ 電源コード 1本
・ 取り付け金具 1枚
・ ネジ（取り付け金具固定用） 4本
・ ネジ（本体固定用） 2本
・ Mini-DIN8ピン－D-sub9ピンクロスシリアルケーブル 1本
・ 導入マニュアル（本書） 1冊
・ 設定マニュアル 1冊
・ AIRCONNECTシリーズ ドライバCD 1枚
・ ユーザー登録はがき、保証書 1枚

メモ

・ ユーザー登録はがきから保証書を切り離した後、必要事項をご記入の上、必ず弊社までご返送ください。また、切り離した保証書は、大切に保管してください。
・ 追加情報が別紙で添付されている場合は、必ず参照してください。

2-3 本製品の取り付け

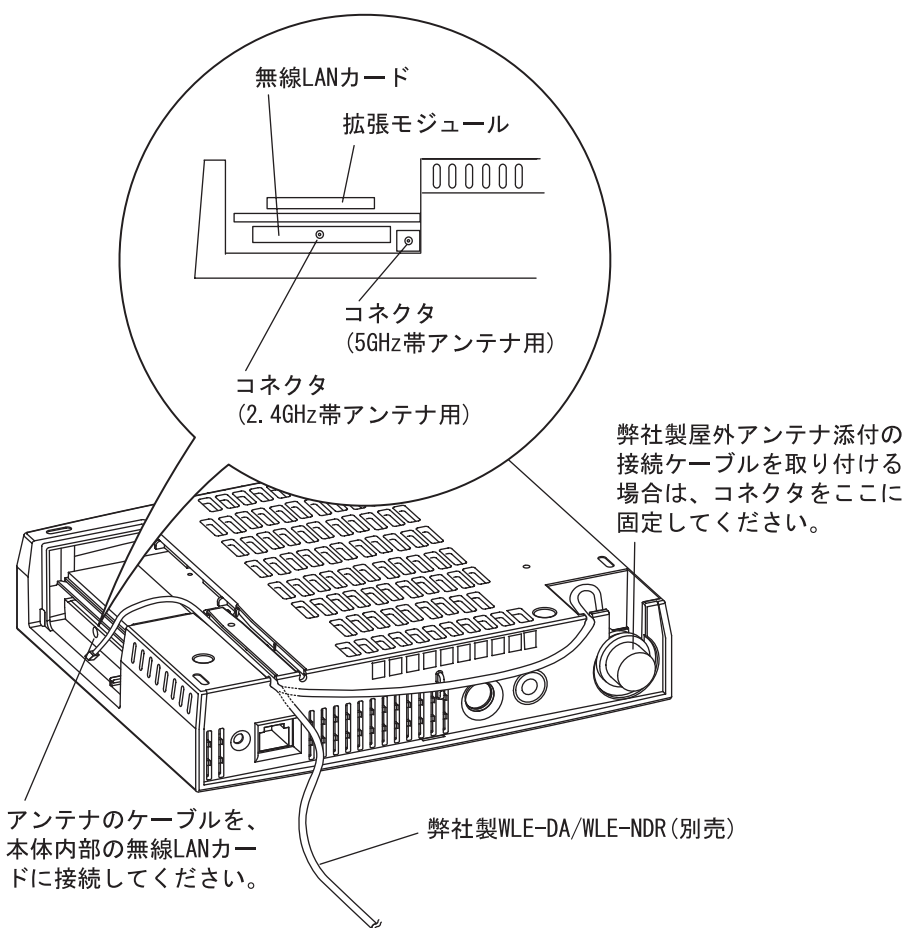
本製品を次の手順で取り付けます。

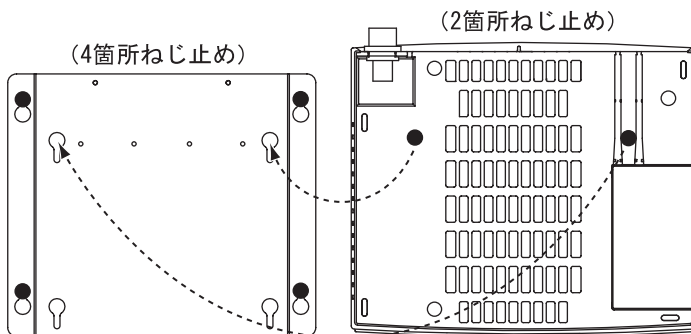
2-3-1 取り付けに必要なもの

本製品の取り付けには、次のものが必要となります。

・ WLM2-L11G (本体)
・ 取り付け金具・ねじ (本製品を柱や壁に設置する場合)
・ 有線LANに接続するためのLANケーブル

2-3-2 外部アンテナ／拡張モジュールの取り付け

別売の外部アンテナや拡張モジュールを接続する場合は、下図のように取り付けてください。また、取り付ける製品のマニュアルも必ず参照してください。

2-3-3 本製品の設置

本製品を柱や壁に設置する場合は、添付の取り付け金具を使用します。
下図のように金具をねじ止めした後、本体にねじを取り付け、金具に引っかけてください。

●印の箇所をねじ止めしてください。本体に取り付けたねじを、金具の穴に引っかけて固定します。

メモ 本製品の設定を完了してから、柱や壁に設置してください。シリアルケーブルの接続など、いくつかの手順がやりやすくなります。

2-3-4 LANケーブルの接続と電源投入

1. 本製品の電源を入れる前に、有線LANと本製品のLANポートをLANケーブルで接続します。
2. 本製品のDCコネクタに、ACアダプタを差し込みます。
3. ACアダプタをコンセントに差し込むと、本製品の電源が入ります。

▶参照 別売のPoE給電アダプタを使って電源を入力する場合は、PoE給電アダプタのマニュアルを参照して、接続してください。

第3章 基本設定

この章では、基本的な設定例として、本製品の名称、IPアドレス、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバ、時刻、ESS-ID、無線チャンネルとWEP（暗号）を設定する方法について説明しています。設定には、Webブラウザや、Telnetなどのターミナルソフトを使用できます。

▶参照 設定についての詳細は、別冊「設定ガイド」を参照してください。

この章には次のセクションがあります。
・ 設定の前に
・ 設定手順の流れ
・ 有線LANで接続して本製品を設定する
・ シリアルケーブルで接続して本製品を設定する

3-1 設定の前に

本製品を設定する前に、次の項目について確認してください。

必要な情報

・ 本製品に設定する名称
・ 本製品のESS-ID（大文字と小文字は区別されます）
・ 本製品のIPアドレス（DHCPサーバから自動取得しない場合）
・ デフォルトゲートウェイのIPアドレス（DHCPサーバから自動取得しない場合）
・ 本体下部のラベルに印刷されている有線MACアドレス（例：000740123456）

必要なもの

・ 設定用パソコン

3-2 設定手順の流れ

設定手順の流れは、次の通りです。

ステップ1

本製品と設定用パソコンを接続します。

ステップ2

有線LANでパソコンと本製品を接続した場合は、添付アプリケーション『クライアントマネージャ』を使用して、Webブラウザから設定画面を開きます。
また、添付のシリアルケーブルでパソコンと本製品を接続した場合は、ターミナルソフトから設定画面を開きます。

▶参照 クライアントマネージャの使用方法やWebブラウザでの設定方法については、「有線LANで接続して本製品を設定する」（P16）を参照してください。また、ターミナル

ソフトを使用した設定については、「シリアルケーブルで接続して本製品を設定する」（P22）を参照してください。

ステップ3
本製品の設定を行います。

▶参照 本製品のセキュリティ、フィルタリングおよびその他の機能の設定については、別冊「設定ガイド」を参照してください。

3-3 有線LANで接続して本製品を設定する
ここでは、本製品と設定用パソコンを有線LANで接続し、Webブラウザを使用して設定する手順を説明します。

3-3-1 クライアントマネージャのインストール
次の手順で、設定用パソコンにクライアントマネージャをインストールします。
クライアントマネージャを使うと、本製品のIPアドレスを変更することができます。

ステップ1
AIRCONNECTシリーズ ドライバCDを、設定用パソコンのCD-ROMドライブに挿入します。

メモ **簡単導入ウィザードが起動しない場合は、AIRCONNECTシリーズ ドライバCD内のWleasy.exeファイルをダブルクリックします。**

ステップ2
［クライアントマネージャのインストール］を選択し、［実行］をクリックします。

ステップ3
クライアントマネージャのInstallShield Wizardが起動したら、ウィザードの指示に従ってインストールを実行します。

3-3-2 基本的な設定
クライアントマネージャを使用して本製品のIPアドレスを設定し、ブラウザを使用して基本的な設定を行います。

メモ **設定用パソコンには、事前にIPアドレスが設定されている必要があります。**

ステップ1
本製品と設定用パソコンを、LANケーブルでLANに接続します。

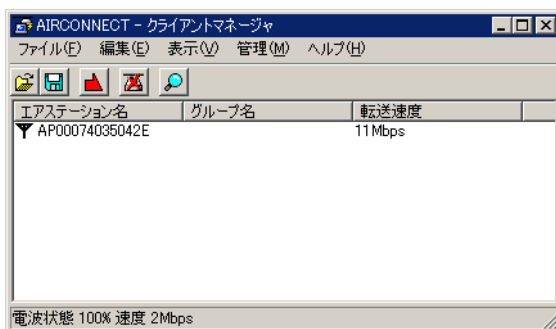
ステップ2

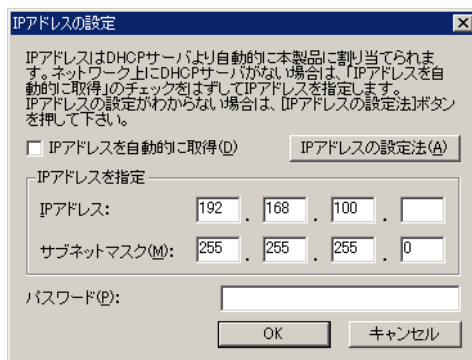
［スタート］－［プログラム］－［MELCO INC］－［エアステーションユーティリティ］－［クライアントマネージャ］を選択して、クライアントマネージャを起動します。

ステップ3

［編集］－［エアステーション検索］を選択すると、本製品が検索されます。

メモ デフォルトのエアステーション名は、APの2文字にMACアドレス12桁を加えた文字列です。

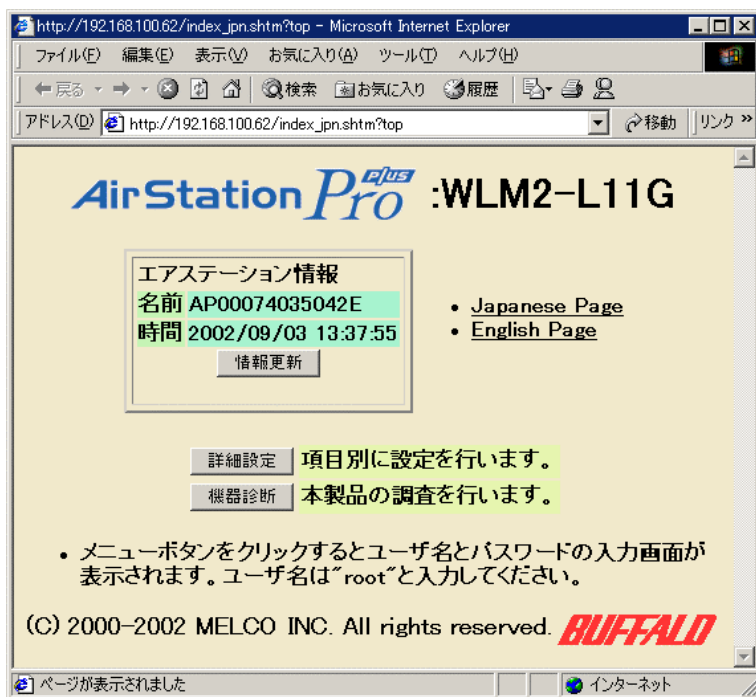
メモ 本製品とパソコンが同じサブネットに属している場合は、検索された本製品を選択して［管理］－［エアステーション設定］を選択すると、**ステップ6**に進むことができます。

ステップ4

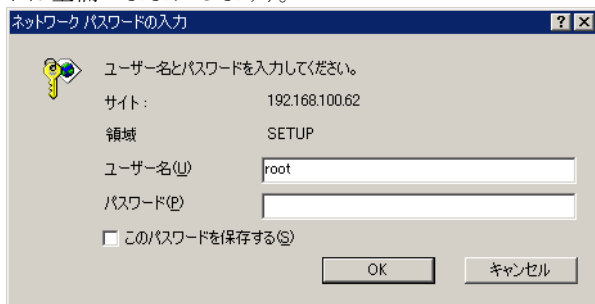
検索された本製品を選択して、［管理］－［IPアドレス設定］を選択します。次の画面が表示されます。

ステップ5

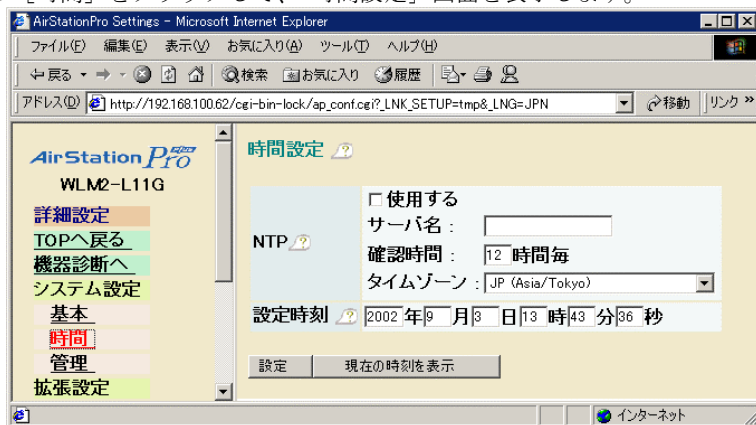
本製品に割り当てるIPアドレスを入力し、[OK] をクリックします。IPアドレスは、本製品に接続するパソコンと同じサブネットに設定する必要があります。IPアドレスをDHCPサーバから自動取得する場合は、「IPアドレスを自動的に取得」にチェックマークを付けて、[OK] をクリックします。

ステップ6

設定画面が表示されます。

メモ ターミナルソフトやTelnetソフトから本製品の設定画面を開いているときは、ブラウザから設定画面を開くことができません。

ステップ7

［詳細設定］をクリックします。
パスワード入力の画面が表示されたら、ユーザー名にrootと入力し、［OK］をクリックします（パスワードは空欄のままにします）。

ステップ8

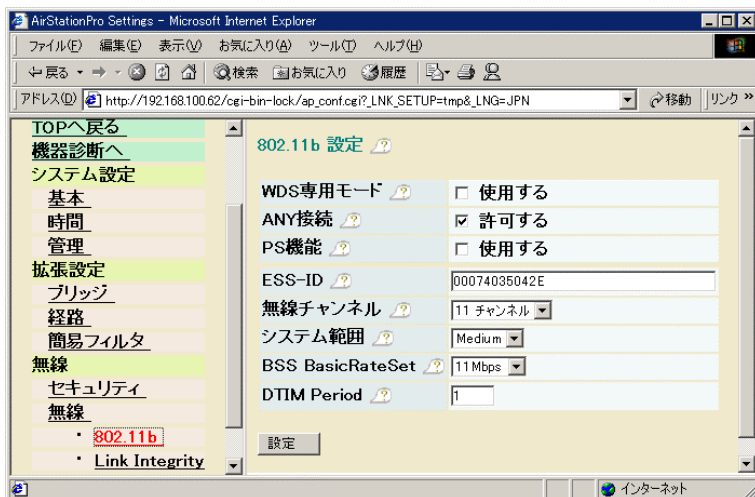
画面左の［時間］をクリックして、「時間設定」画面を表示します。

ステップ9

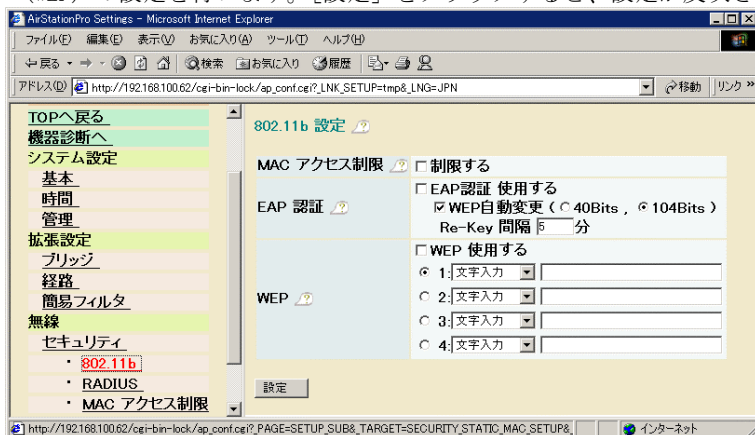
現在の時刻を入力します。［設定］をクリックすると設定が反映されます。

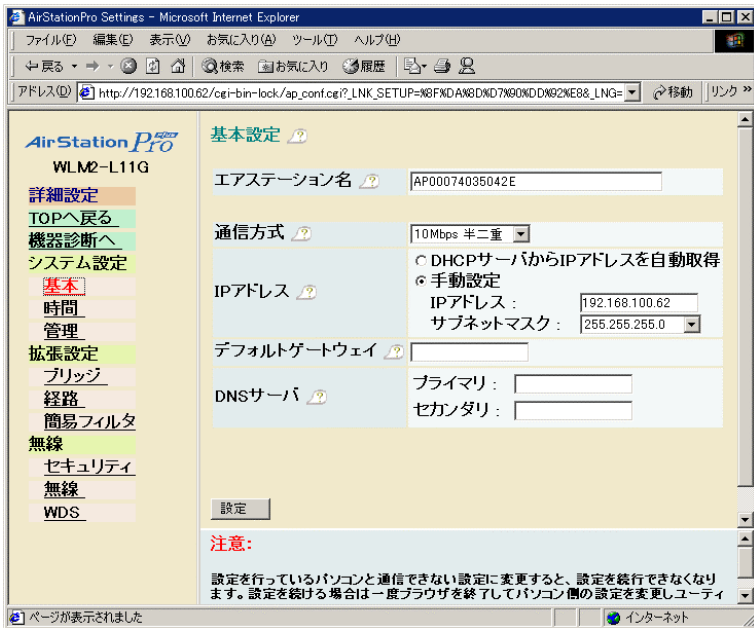
メモ 25分間以上通電した後は、ACアダプタを本体から外しても、設定した時刻を約3日間維持しています。

ステップ10

画面左の［無線］－［802.11b］をクリックして、「802.11b設定」画面を表示します。
ESS-IDと無線チャンネルの設定を行います。［設定］をクリックすると設定が反映されます。

メモ ESS-IDは、無線LANパソコンが本製品との関連付けに使用する固有の識別情報です。
ESS-IDには、1～32文字までの長さの英数字を使用できます。

ステップ11

画面左の［セキュリティ］－［802.11b］をクリックして、「802.11b設定」画面を表示します。
暗号キー（WEP）の設定を行います。［設定］をクリックすると、設定が反映されます。

ステップ12

左の画面の［基本］をクリックして、「基本設定」画面を表示します。
エアステーション名欄に、本製品に設定する名称を入力します。エアステーション名の入力は必須ではありませんが、複数のエアステーションが存在する場合、本製品の識別が容易になります。
IPアドレス欄に、IPアドレスを入力し、サブネットマスクを選択します。DHCPサーバから自動的に取得する場合は、［DHCPサーバからIPアドレスを自動取得］を選択します。
デフォルトゲートウェイ欄に、デフォルトゲートウェイのIPアドレスを入力します。ゲートウェイが存在しないときは空欄にします。
入力後、［設定］をクリックすると設定が反映されます。

▶参照 本章で説明していない設定項目については、別冊「設定ガイド」を参照してください。

3-4 シリアルケーブルで接続して本製品を設定する

ここでは、本製品と設定用パソコンを添付のシリアルケーブルで接続し、ターミナルソフトを使用して本製品の設定をする手順を説明します。

3-4-1 基本的な設定

ここでは、Windowsの標準アプリケーション『ハイパーターミナル』を使用した場合について説明しています。他のプログラムを使用した場合でも、操作はほぼ同じです。

メモ ブラウザやTelnetソフトから本製品の設定画面を開いているときは、ターミナルソフトから設定画面を開くことができません。

ステップ1

添付のシリアルケーブルで、パソコンのCOMポートと本製品のシリアルポートを接続します。

ステップ2

ハイパーターミナル（ターミナルソフト）を開きます。

ステップ3

次のポート設定で、通信を開始します。

・ビット／秒（ボーレート）　57600
・データ・ビット　8
・パリティ　なし
・ストップ・ビット　1
・フロー制御　なし

ステップ4

「APxxxxxxxxxxxx login」と表示されます（xxxxxxxxxxxxはMACアドレスの12桁）。
ログイン名に「root」を入力してください。

ステップ5

以下のコマンドで日付を設定します。

setup date *yyyy/mm/dd*
yyyy 西暦を入力します
mm 月を2桁で入力します
dd 日を2桁で入力します

入力例

```
setup date 2002/09/03
```

ステップ6

以下のコマンドでESS-IDを設定します。

<ESS-IDを設定するとき>

airset 11b essid *ess-id*

ess-id 半角英数字と半角記号の32文字までの組み合わせを入力します（デフォルト：MACアドレスの12桁)。

<ESS-IDをデフォルトに戻すとき>

airset 11b essid_default

入力例

```
airset 11b essid AirStation
```

ステップ7

以下のコマンドで無線チャンネルを設定します。

airset 11b channel *number*

number 無線チャンネルの番号を入力します（デフォルト：11)。

入力例

```
airset 11b channel 7
```

ステップ8

以下のコマンドで暗号キー（WEP）を設定します。

<WEPキーを登録する>

airset 11b wep *keytype* ［**index** *number*］ *wep_key*

keytype 設定するWEPの種類を設定します。

key　　40(64)ビットWEP

key104　104(128)ビットWEP

number 設定するWEPのインデックスナンバー（1-4）を入力します。省略した場合は、1番に登録されます。

wep_key 設定するWEPキーを、文字または16進数で入力します。

文字列入力　text + 空白 +“5文字または13文字の文字列”

※文字列は“　”（ダブルクォーテーション）で囲みます。

※40(64)ビットWEPは5文字、104(128)ビットWEPは13文字入力します。

16進数入力　10桁または26桁の16進数

※40(64)ビットWEPは10桁、104(128)ビットWEPは26桁入力します。

入力例

```
airset 11b wep key text “Skey5”
airset 11b wep key a3d58bb632
airset 11b wep key index 1 text “Skey5”
```

〈WEPキーを削除する〉

airset 11b wep *keytype* **clear**

keytype 設定するWEPの種類を設定します。
key　40(64)ビットWEP
key104　104(128)ビットWEP

入力例

```
airset 11b wep key clear
```

ステップ9

以下のコマンドで本製品の名称（エアステーション名）を設定します。エアステーション名を設定すると、本製品の識別が容易になります。

〈エアステーション名を登録する〉

setup apname *name*

name：半角英数字と半角記号の組み合わせで32文字まで入力します。

入力例

```
setup apname AirStation01
```

〈エアステーション名をデフォルトに戻す〉

setup apname_default

ステップ10

以下のコマンドで本製品のIPアドレスを設定します。

ip address lan0 *assigned_ip*

assigned_ip 設定するIPアドレスを指定します。
ip_address/netmask　手動でIPアドレスとサブネットマスクを設定
ip_address　xxx.xxx.xxx.xxx（xxxは10進数）
netmask　xxx.xxx.xxx.xxx（xxxは10進数）またはプリフィックス
dhcp　DHCPサーバからIPアドレスを自動取得
clear　DHCPサーバから自動取得したIPアドレスを開放

入力例

```
ip address lan0 192.168.100.60/255.255.255.0
ip address lan0 192.168.100.15/24
ip address lan0 dhcp
```

ステップ11

以下のコマンドで本製品のデフォルトゲートウェイを設定します。

ip defaultgw *gw-ip*

gw-ip ルーティング先となるIPアドレスを指定します
xxx.xxx.xxx.xxx（xxxは10進数）

入力例

```
ip defaultgw 192.168.56.254
```

▶参照 本章で説明していない設定項目については、別冊「設定ガイド」を参照してください。

第４章 付録

4-1 デフォルト設定

項目	デフォルト設定
基本設定	
エアステーション名	“AP”+MACアドレスの12桁
通信方式	10Mbps 半二重
IPアドレス	1.1.1.1
デフォルトゲートウェイ	未設定（空欄）
DNSサーバ	プライマリ：未設定（空欄） セカンダリ：未設定（空欄）
時間設定	
NTP	使用しない（確認時間：12時間毎、タイムゾーン：JP(Asia/Tokyo)）
設定時刻	（初期化後）2002年1月1日9:00:00 ※ 2002年1月1日9:00～2038年12月31日23:59まで設定できます。 ※ ACアダプタを取り外した後は、設定時刻を約3日間維持しています。
管理設定	
管理ユーザ名	root（変更不可）
現在のパスワード	未設定（空欄）
新パスワード	未設定（空欄）
パスワード確認	未設定（空欄）
WEB設定	許可する
Telnet設定	許可する
ログサーバへ送信	使用しない
種類	設定：Notice + Info 認証：Notice + Info システム：Notice + Info
エージェント機能	使用する
設置場所	Unknown
管理責任者	Administrator
コミュニティ	GET：public SET：private

項目	デフォルト設定
ブリッジ設定	
スパニングツリー	使用しない
Bridge Priority	32768
Forward Delay	5秒
Hello Time	2秒
Max Age	20秒
Ageing Time	300秒
Port Priority	有線側：128 無線（802.11b）側：128
Path Cost	有線側：100 無線（802.11b）側：200
経路設定	
RIP受信	RIP1とRIP2両方
宛先アドレス	未設定
ゲートウェイ	未設定
メトリック	15
簡易フィルタ設定	
フィルタの設定	未設定
セキュリティ設定（802.11b）	
MACアクセス制限	制限しない
EAP認証	使用しない（WEP自動変更：104Bits、Re-Key間隔：5分）
暗号（WEP）	使用しない
セキュリティ設定（RADIUS）	
プライマリ	未設定（ポート番号：1812、Timeout：5秒、確認回数：3回）
セカンダリ	未設定（ポート番号：1812、Timeout：5秒、確認回数：3回）
有効時間	60分
拡張設定	Termination-Actionフラグを無視する
セキュリティ設定（MACアクセス制限）	
接続可能な無線LANパソコン	未設定
無線設定（802.11b）	
WDS専用モード	使用しない
ANY接続	許可する
PS機能	使用しない
ESS-ID	MACアドレスの12桁
無線チャンネル	11チャンネル
システム範囲	Medium
BSS BasicRateSet	11Mbps
DTIM Period	1

項目	デフォルト設定
無線設定（Link Integrity）	
Link Integrity	使用しない
宛先	localhost
確認間隔	60秒
再確認回数	5回
WDS設定	
通信可能なエアステーション	未設定

4-2 トラブルシューティング

トラブルシューティングの内容は、AirStationコミュニティサイトairstation.com（http://www.airstation.com/）を参照してください。

■保証書について

本製品には、保証書が添付されております。この保証書は、本製品の修理についての条件を定めた約款が記載されております。お客様が無償修理を要求する場合に必要となりますので、保証期間、製品名および製品シリアルNo.が記載されていることをご確認のうえ、大切に保管してください。

■ユーザー登録について

ユーザー登録はがきに必要事項を記入して郵送していただければ、弊社製品のユーザーとしてご登録いたします。

※ 本製品に対するサポートやバージョンアップなどのサービスは、ユーザー登録されている方でなければ受けられません。

※ ユーザー登録後に製品を譲渡した場合でも、ユーザー登録は変更できません。

■修理について

製品をお送りいただく前に、マニュアルを参照して設定や接続が正しいかを再度ご確認ください。正しく接続や設定をしても改善されない場合は、修理票と保証書の原本に必要事項をご記入の上、製品と一緒にお送りください。修理票は、弊社ホームページ（本書裏表紙参照）にてダウンロード可能です。修理票の添付が困難な場合は、以下の事項をお調べになった資料と保証書の原本を添付して製品をお送りください。

※ ご依頼いただいた修理品以外に関するお問い合わせは承っておりません。製品に関するお問い合わせはインフォメーションセンター(裏表紙に記載)へお願いします。

※ 宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。郵送は固くお断り致します。

※ 送料は送り主様のご負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故に関しては、弊社は責任を負いかねますので、輸送会社に別途保証をしていただくなどの措置を取ってください。

※ 修理にお送りいただく際に、弊社への事前連絡は不要です。

※ ハードディスクなどの記憶装置をお送りいただいた場合、その記憶装置はフォーマット致します。また、記憶装置を修理する場合は、データが記憶されているディスク部分を交換することがございます。お送りいただく際、必要なデータは必ず事前にバックアップを作成しておいてください。

※ 修理期間は、製品の到着後7日程度（弊社営業日数）を予定しております。

製品送付先:　〒457-8520　名古屋市南区柴田本通4-15
株式会社メルコ　修理センター宛
TEL：052-619-1289

チェック項目：
①返送先
[氏名／住所／電話番号(内線)／FAX番号]
②平日昼間の連絡先
[氏名／住所／電話番号(内線)／FAX番号]
③修理対象のメルコ製品名
④弊社製品ハードウェアシリアルナンバー
⑤弊社製品ソフトウェアシリアルナンバー
⑥具体的な症状／ エラーメッセージ
⑦発生状況
[始めから／ある日突然／環境を変えたら]
⑧発生頻度
[必ず／頻繁／時々／時間が経つと、他]
⑨コンピュータ
[本体メーカ名／型番／シリアルナンバー]
⑩ハードディスク
[メーカ名／型番／シリアルナンバー]
⑪プリンタ
[メーカ名／型番／シリアルナンバー]
⑫その他周辺機器
[メーカ名／型番／シリアルナンバー]
⑬OS(オペレーティング・システム)
[ソフト名／メーカ名／バージョン]
⑭アプリケーション／バージョン
[症状に依存性のある場合は詳細も]
⑮製品以外の添付品
[付属ソフトなど]

導入ガイド
2002年9月12日　初版発行
発行　株式会社メルコ

本製品について
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

受信障害について
ラジオやテレビジョン受信機（以下、テレビ）などの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチをいったん切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、以後は次の方法を組み合わせて受信障害を防止してください。
・本機と、ラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる
・本機と、ラジオやテレビ双方の距離を離してみる
・この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる

弊社製品の情報は次の方法で入手できます

インターネット

製品情報　http://www.melcoinc.co.jp/
サポート情報　melinf.jp

製品サポート

本製品のお問い合わせは、次の窓口にて承っております。
法人向け製品専用ダイヤル
052-619-2000
月～金　9:30～12:00/13:00～17:00　**※祝日を除く**

※事前にメモとペンを用意し、次の事項を確認しておいてください。
- **コンピュータ名と使用OS**
- **本製品の製品名とシリアルナンバー**
- **現象（具体的なエラーメッセージなど）**

※受付時間や電話番号などは、変更されることがあります。最新の内容は弊社ホームページでご確認ください。